

I 令和5年度鈴鹿市一般会計予算について

総額 約692億円（前年比 9億6,500万円増）

歳入予算

内訳	予算額	構成比
① 市税	約297億円	43%
② 地方交付税等	約162億円	23%
③ 国・県支出金	約160億円	23%
④ 繰入金（財政調整基金等）	約40億円	6%
⑤ 市債（借金）	約33億円	5%
合計	約692億円	100%

歳出予算

内訳	予算額	構成比
① 民生費	約280億円	41%
② 教育費	約84億円	12%
③ 総務費	約80億円	12%
④ 土木費	約71億円	10%
⑤ 衛生費	約60億円	9%
⑥ 公債費	約44億円	6%
⑦ 消防費	約26億円	4%
⑧ その他	約20億円	3%
⑨ 農林水産業費	約17億円	2%
⑩ 商工費	約9億円	1%
⑪ 労働費	約1億円	0%
合計	約692億円	100%

2 令和5年度障がい福祉課関連予算について

令和4年度予算額	令和4年度決算額	令和5年度予算額	前年比（予算対比）
約57億6千万円	約60億8千万円	約60億6千万円	約3億円増

主な事業費	令和4年度予算額 A	令和4年度決算額 B	令和5年度予算額 C	前年比 D (予算対比) D=C-A
障害福祉 サービス事業	約38億2,670万円	約39億1,410万円	約39億4,760万円	約1億2,090万円 増
地域生活支援 事業	約2億3,320万円	約2億1,700万円	約2億4,040万円	約720万円増
自立支援医療 (更生医療)	約1億5,060万円	約1億5,130万円	約1億5,010万円	約50万円減
特別障害者 手当	約7,070万円	約6,950万円	約7,070万円	増減なし
補装具事業	4,400万円	約4,990万円	4,400万円	増減なし
障害児通所 支援事業	約12億5,100万円	約14億2,670万円	約14億2,610万円	約1億7,510万円 増
障害児福祉 手当	約2,680万円	約2,220万円	約2,670万円	約10万円減

(1) 障害福祉サービス事業（サービス事業費負担金）

令和4年度末支給決定者数 1,688人

令和4年度予算額	令和4年度決算額	令和5年度予算額	前年比（予算対比）
約38億860万円	約38億9,440万円	約39億3,100万円	約1億2,240万円増

主なサービス別利用状況（一部抜粋）

サービス名	延利用者（人）	利用額（円）
居宅介護	2,455	126,157,410
生活介護	6,281	1,344,101,672
就労移行	336	58,477,670
就労継続（A型）	2,758	429,784,139
就労継続（B型）	6,313	818,970,995

(2) 障害児通所支援事業（サービス事業費負担金）

令和4年度末支給決定者数 1,130人

令和4年度予算額	令和4年度決算額	令和5年度予算額	前年比（予算対比）
約12億4,790万円	約14億2,320万円	約14億2,280万円	約1億7,050万円増

主なサービス別利用状況（一部抜粋）

サービス名	延利用者（人）	利用額（円）
児童発達支援	4,626	298,734,367
放課後等デイサービス	11,321	1,070,187,262

(3) 福祉タクシー事業

対象者 身体障害者手帳（下肢・体幹・視覚）Ⅰ・Ⅱ級

身体障害者手帳（内部）Ⅰ級

療育手帳A

精神障害者保健福祉手帳Ⅰ級

ただし、自動車税または軽自動車税の減免を受けている方は除く

交付内容 一人当たり 500円券 × 2枚 × 月数
(計1,000円～12,000円分)

令和4年度予算額	令和4年度決算額	令和5年度予算額	前年比（予算対比）
4,590,000 円	4,286,940 円	4,590,000 円	増減なし

年度	交付人数 (人)	決 算 額 (円)	利 用 率		社会福祉事業振興 基金残高（円）
			(%)	前年比	
H28	793	5,220,170	61.0	15.1%増	11,120,798
H29	791	4,926,200	58.3	2.7%減	6,395,003
H30	791	4,966,770	58.8	0.5%増	
R1	787	4,793,690	57.9	0.9%減	
R2	741	4,178,220	54.0	3.9%減	
R3	688	4,274,110	57.2	3.2%増	
R4	689	4,286,940	57.7	0.5%増	

※予算額、決算額とも扶助費分のみ

※利用率 $\frac{\text{タクシー会社に支払った総額}}{\text{年間交付枚数} \times 500 \text{円}}$

(4) 障がい者の就労マルシェ（就職面接会）

本年度は、障がい者の就職面接会を10月5日（木）、6日（金）に、イスのサンケイホール鈴鹿で開催予定。

(5) 福祉ロボット推進事業

歩行訓練用装着ロボットスーツHALの訓練指導ができる人材の育成と、訓練可能な施設を増やすことで、みえライフイノベーション総合特区鈴鹿拠点に集約された医療・福祉の社会的資源の一層の活用と充実を図り、学生の定住化を図り、地域障がい者の自立、福祉の先進的取組みを引き続き支援する。